

令和6年度栃木県立宇都宮高等学校登山部の活動報告

| 月 | 報告欄 | チェック欄 | | | |
|----------|--|--|----|----|----|
| 4月 | ○新入生の勧誘活動 ○今年度の活動方針決定 ○新入生への山岳共済保険加入および高体連への選手登録 ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○幕営体験（テントの設営と撤収の実際） | 休養日 毎週木・土・日 | 教頭 | 校長 | |
| 5月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○ロープワーク実習 ○幕営体験（テントの設営と撤収の実際） | 休養日 毎週木・土・日 中間考査実施期間 | 教頭 | 校長 | |
| 6月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○ロープワーク実習 ○幕営体験（テントの設営と撤収の実際） ○新入部員歓迎登山：6月16日（日）実施、赤薙山（日光市）の往復登山。 参加者13名（3年生：2名、2年生：3名、1年生：8名、顧問2名、アドバイザー1名） | 休養日 毎週木・土・日 （16日を除く） | 教頭 | 校長 | |
| 7月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○ロープワーク実習 ○社山登山：7月13日（土）実施 参加者14名（3年生：2名、2年生：4名、1年生：8名、顧問2名、アドバイザー1名） ○白根山登山：7月20日（土）実施、菅沼登山口から往復。 | 休養日 毎週木・土・日 （13日、20日を除く） 期末考査実施期間 | 教頭 | 校長 | |
| 8月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○ロープワーク実習 ○夏山合宿：8月3日（土）～5（月）、北アルプス、徳沢キャンプ場幕営、蝶ヶ岳の往復登山 参加者19名（3年生：2名、2年生：4名、1年生：10名、顧問2名、アドバイザー1名） | 休養日 毎週木・土・日 （3日、4日を除く） | 教頭 | 校長 | |
| 9月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○ロープワーク実習 ○男体山登山：9月14日（土）実施、中宮祠登山口から山頂までの往復登山。 参加者14名（2年生：5名、1年生：6名、顧問2名、アドバイザー1名） ○尾瀬ヶ原キャンプ：9月21日（土）～22日（日）実施、鳩待峠～見晴キャンプ場～尾瀬ヶ原 | 休養日 毎週木・土・日 （14日、21日、22日を除く） 期末考査実施期間 | 教頭 | 校長 | |
| 10月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○古峰ヶ原高原全山縦走登山：10月13日（日）実施、古峰ヶ原高原～三枚岩～横根山～日瓢鉱山へ下山。 参加者13名（2年生：2名、1年生：7名、顧問1名、アドバイザー1名） | 休養日 毎週木・土・日 （13日を除く） 中間考査実施期間 | 教頭 | 校長 | |
| 11月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○11月9日土曜講座の午後、炊事訓練 | 休養日 毎週木・土・日 | 教頭 | 校長 | |
| 12月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○12月21日（土）鹿沼岩山において、ロープワーク実習を伴う安全登山講習を実施。 参加者8名（2年生：4名、1年生：2名、顧問1名、アドバイザー1名） | 休養日 毎週木・土・日 （21日を除く） 期末考査実施期間 | 教頭 | 校長 | |
| 1月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○ロープワーク実習 | 休養日 毎週木・土・日 | 教頭 | 校長 | |
| 2月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○ロープワーク実習 ○2月22日（土）足利市大小山縦走登山。 参加者10名（2年生：名、1年生：5名、顧問1名、アドバイザー1名） | 休養日 毎週木・土・日 （22日を除く） 学年末考査実施期間 | 教頭 | 校長 | |
| 3月 | ○安全登山のための学科講習（読図・天気図の見方と作成・応急処置等）および基礎体力トレーニング ○春休み期間中に宇都宮森林公園において、読図演習を実習予定 | 休養日 毎週木・土・日 | 教頭 | 校長 | |
| 年間を通した反省 | 昨年度に引き続き鶴見勝司氏が部活動指導員として配置され、月に2回程度の部活動指導のほか、全山行に帯同してもらうことができた。宿泊を伴う率は、部活動指導員には認められていないため、登山アドバイザー派遣事業を利用した。 今年度は昨年と同様に月1～2回程度の山行を実施できた。 宿泊を伴う県外の合宿登山も夏山の北アルプス蝶ヶ岳と、秋山の尾瀬ヶ原で実施でき、県内の日帰り登山も、7件実施できた。 今年度もパーティーの危機管理能力向上を意識した実践的なロープワーク訓練を1件実施できた。 安全登山のための実習にも可能な限り参加し、伝達講習を通じて生徒と情報共有を図ることができた。 昨年度までに比べ、高体連の普及強化活動費が大幅に減額され、借り上げバス代などの生徒負担は増加した。 | | | 教頭 | 校長 |